



しっかり準備を整えて

学園長 小島 澄人

寒さが身に染みます。朝6時に職員室を開けるのに手がかじかんで困ります。先日、山を掘る機会がありびっくりしたのが、小さな小さな可愛いタケノコの赤ちゃんを発見し、こんな寒い日に自然界は着々と、春の準備にいそしんでいます。幼稚園でもジャガイモの種芋を植える場所づくり、室内では新入園児の受け入れを進めています。子どもたちは進級に、そして年長のみなは小学校へ、時は待つてはくれません。2年間はコロナで悩まされてきただけに、年長さんにはすっきりとした形で「送り出してあげたい!」、その思いがますますつのります。自然と人類との、正に闘いかのように、次々とコロナも変異種と変え、私たちの活動に変化を求めてきます。収まるのを待つだけ、そんな気がします。しっかりとした準備、あたたかく送り出して行きたい、卒園式準備は進めています。

外を見ると、子どもたちは縄跳びにボール遊びにと楽しんでます。その元気な姿にほっといたします。今年の年賀状のほとんどが、「コロナ終わって」、そんな文面が多く見られましたが、今は耐えるだけかも知れません。

制作活動、しっかり保育の中で行ないいつかは子どもたちの成長した姿を見せてあげたい物です。年長さんが壁画を作りたいと、各クラス、みんなで取り組むようです。私にも「是非」、と。久し振りにやろうかなと思っています。40年間作ってきましたが、ここ2年は制作活動はストップでした。約250作品、作ってきましたが、今思うと呆然とします。よくこつこつとやったもんです。その頃から、朝3時に起き、準備をして8時までおこなったものです。そこまで元気はないが、子どもたちのサポートはしていきます。実は、私の作品をする場所が、どこにも見当たらず困っています。あっ、ありました、第2駐車場の壁がありました。以前、壁いっぱい壁画を作りましたが、土地を、道を拡げるために行政に移した際、壊して作り直しました。少し狭くなりましたが、作る場所が見つかりました。頑張ります。

みなさんも、コロナで不安かも知れませんが、その日その日を精一杯、頑張るだけです。誰の、誰かの、では無く、一人ひとりが充分注意して乗り越えたいと思います。

